

Kumenan Press



久米南町立久米南中学校
校長室だより

No.2 2018. 4. 17

生徒に期待すること

互いを大切にする学校をつくろう

39 名の新生を迎え、全校生徒がそろったところで、いよいよ本年度の本格的な活動が始まりました。

本年度の全校生徒は 113 名。一人として同じ人間はいません。一人ひとりがかげがえのない存在であり、全員がそれぞれの力を発揮することで、集団としての大きなパワーが生まれます。

違いを知り、違いを認め、互いを大切にしながら切磋琢磨する学びができる学校をつくりましょう。



言葉の力を磨き、世界を広げよう!

立派な態度で入学式に臨んだ新入生。

互いを知るためには、コミュニケーションが欠かせません。自分の知っている言葉や価値観だけにとらわれていては、他者とのつながりは広がりません。多くの書物を読んだり、人の話を聴いたりすることで、様々な考え方や価値観を知り、自分の考えを広げ、深めましょう。そして、周りの様々な人々と柔軟なコミュニケーションができる力を身につけましょう。

本校は、グローバル化に対応できる人材の育成を目標の一つにあげていますが、それは、ただ英語力を伸ばすことを目指しているわけではありません。情報化、国際化が進み、個人が自由に情報を送受信できるグローバル時代に求められるのは、自己の確立と他者理解、そして発信力だと考えます。

まずは日本語で論理的に物事を考え、自分の意見を持ち、主張することができる力を身につける必要があります。その上で、他国の様々な文化や人々を尊重し、理解しようとし、協働することができる人になってほしいと願っています。



言葉が増えれば思考が深まります。言葉が広がれば世界が広がります。心を伝える大切な手段である言葉の力を磨き、磨いた言葉をつかって、互いを大切にするための生き方を共に考えていきましょう。

演奏で入学式を盛り上げてくれた吹奏楽部。ありがとう!